



農業保険実施能力向上プロジェクト ニュースレター

2022年12月

AYII (収量インデックス型農業保険)パイロット地区で総括会議実施

コメのAYII(収量インデックス型農業保険)を実施した中部ジャワ州ケンダル県と西ジャワ州カラワン県で、これまでのAYIIパイロット事業に係る過程を総括する会議を各県で行いました。ケンダル県では、AYIIを初めて実施したこともあり、1000ヘクタールの加入目標に対し加入面積は156ヘクタール、加入農家は360戸にとどまりました。一方でカラワン県では3作期目の試行となり、ケンダル県と同様の目標に対し、646ヘクタール、加入農家448戸の登録がありました。総括会議と同時に各県でワークショップを開催し、AYIIパイロット事業の実施過程を振り返り、発生した問題や難しさに対する解決策を考え提案する作業を行いました。今後の農業省AYIIガイドラインや関連のマニュアルの見直しの際に、これらの結果を反映し、改善していく予定です。



合同調整委員会(JCC)と農業保険ワークショップ開催

10月31日、第9回JCCを開催しました。プロジェクト実施機関やパイロット事業実施地の農業局の代表者など、合計46名が参加しました。議長は、プロジェクトディレクターであるBAPPENAS(国家開発計画庁)次官代理のヴィヴィ・ユラフスティ氏が務め、冒頭にプロジェクトの進捗状況や2023年6月のプロジェクト完了に向けた計画について説明しました。農業省のPuslatan(農業研修センター)からは、今年中に農業普及員向けに予定している2つのオンライン研修に、AUTP(実損補填型コメ保険)講習を追加することが発表されました。さらに、2023年に予定されている定期研修にAUTP研修モジュールを組み込むための調整会議を持ち、年末までに詳細計画を検討することになりました。AYIIに関して、上記の総括会議を経てプロジェクトが開発・改訂するマニュアルや参考資料が、今年中に農業省が改訂・発行する予定の公式ガイドライン(2023年AYII実施指針)に添付される、または参考資料として参照されることが合意されました。また、JCC開催に先立ち、農業保険分野の関係者を招き、「インドネシアにおける農業保険の課題と機会」というテーマでワークショップを開催し、意見交換が行われました。議論された内容や意見は、来年早々プロジェクトが作成する政策提言に反映される予定です。



↑第11回JCCの様子

→ワークショップの様子